

インターネット配信研修[オンデマンド]

「206. 多死社会に求められる看取りの看護」

本研修は、6月20・21日に日本看護協会神戸研修センターで開催する「206. 多死社会に求められる看取りの看護」研修の収録映像を後日、インターネット回線を利用して配信し、各都道府県看護協会が設定した受信会場で視聴する研修です。各受信会場でのご質問はご受けしていません。

【研修目的】多死社会における看取りのあり方への理解を深め、住み慣れた地域や在宅での看取りを可能にする看護の役割と責任を明確化しつつ、看取りの看護実践力を強化する方法について学ぶ。

【主な対象】看取りに携わる看護職

時間	研修形態 / 科目名	講師名(敬称略・所属施設名)
9月27日(木曜日)		
9:30~9:40	オリエンテーション	
9:40~11:10	講義)●多死社会の到来と看取りをめぐる状況 ・データでみる多死社会の今とこれから ・看取りに関する医療政策・制度 ・エンド・オブ・ライフにおける医療のあり方 ・在宅医による看取りの実際(アドバンス・ケア・プランニングでDNR(do not resuscitation)と意思決定した事例を含む)など	小野沢 滋 (みその生活支援クリニック)
11:20~12:30	講義)●看取りにおける看護の役割 ・多死社会で求められる看取りの看護 ・求められる看取りの看護を実現するために など	角田 直枝 (茨城県立中央病院 ・茨城県地域がんセンター)
12:30~13:30	昼休憩	
13:30~15:00	講義・演習)●看取りの看護に必要な知識と技術 ・看取りの看護における身体をみる力の重要性 ・看取りにおける看護アセスメントと看護ケアプラン ・看護ケアの実施と技術 ・演習:ケーススタディ など	宇野 さつき (医療法人社団 新国内科医院)
15:10~16:30	講義)●さまざまな場所での看取り ～在宅での看取りと病診連携の実際～ ・事例:独居者を在宅で看取る/介護施設での看取り など ・看取りの看護実践を積むとは～知識と技術の習熟プロセス ・看取りを行う看護職のセルフケア など	宇野 さつき(前掲)
9月28日(金曜日)		
9:30~9:35	オリエンテーション	
9:35~10:50	講義)●死にむかう身体の変化と病態の理解 ・死亡までの身体の変化とその機序 ・予後の予測と患者・家族への対応 ・臨死期における急変～その頻度と病態 など	山口 崇 (一般財団法人甲南会 甲南病院)
11:00~12:30	講義)●臨死期における適切な医療とは ・臨死期の輸液のあり方と実際 ・鎮静の目的・適応と薬物療法の実際 など	山口 崇(前掲)
12:30~13:30	昼休憩	
13:30~14:50	講義)●さまざまな場所での看取り～病院での看取り～ ・病院での看取りの実際 ・地域での看取りを支援する病院と看護のあり方 など	渡壁 晃子 (医療法人友絃会 彩都友絃会病院)
15:00~16:30	講義)●看取りに関わる家族を支える看護 ・家族からみた望ましい看取りとは ・看取りにおける家族支援の実際 など	渡壁 晃子(前掲)